



ラボ・ライブラリーSK31『ロージーちゃんのひみつ』
発刊記念教育講演会

子どもの心の奥底を見つめる絵本の巨人

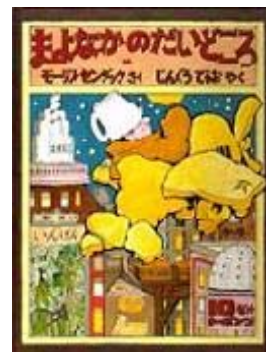
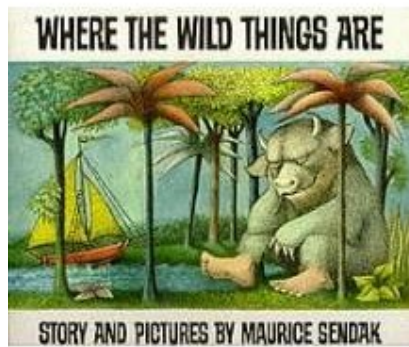
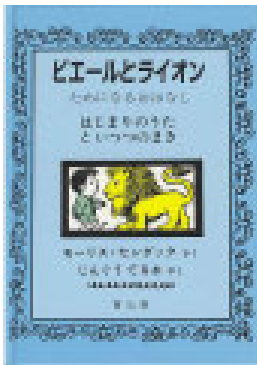
モーリス・センダックの世界

～レオニ、スタイク、アメリカ絵本の魅力～

この冬に刊行される新しいラボ・ライブラリーは、20世紀後半のアメリカを代表する3名絵本作家モーリス・センダック、レオ・レオニ、ウィリアム・スタイクによる6編の絵本に題材をもとめて制作されます。この刊行を記念して、長年にわたり児童文学の翻訳・研究に携われ、センダック作品の訳者としても著名な神宮輝夫先生をお招きして、センダック作品とその世界についてたっぷりとお話していただくことになりました。

子どもたちが直面するおとなたちや社会からのさまざまな圧迫、子ども自身ではのりこえられない不安に常に正面からむきあってきセンダック作品は、子どもたちを取り巻く状況がぎびしさを増している21世紀の今、新たな意味をもちはじめていると神宮先生はおっしゃいます。

また、講演の後半では、レオニ、スタイクの作品にもふれていただき、センダック同様、世界の子どもたちに愛されてきた彼らの絵本の魅力についてお話しいたします。



■日 時：10月9日（火）13：00～15：00

■会 場：仙台市福祉プラザ（2F ふれあいホール 地図裏面）

■参加費：無 料 ※託児はありません。

■講師： 神宮 輝夫 青山学院大学名誉教授

■主 催：財団法人 ラボ国際交流センター

■協 賛：ラボ・パーティ

■後 援：宮城県教育委員会
仙台市教育委員会

■定 員：200名（一般公募 50名）

*事前に申込みが必要です。定員になり次第、締め切ります。

◎お申込み：ラボ国際交流センター

ラボ会員家庭は所属テューターへお申込みください。
ラボ会員以外の方は下記の申込書をファックスして
いただくか、同内容をメールにてお送りください。

Fax: 022-261-9032

E-mail: kitanihon@labo-global.co.jp

またはフリーダイヤル 0120-808-743 まで

モーリス・センダックの世界 参加申込書（切り取らずに、このままファックスしてください）

お名前 _____

※ラボ会員の方はパーティ名 _____ パーティ

*ラボ会員でない方は下記もご記入下さい。

ご住所 _____

電話番号 _____

*個人情報、ラボの活動以外には使用しません。個人情報は厳守します。



講師 青山学院大学名誉教授 **神宮輝夫** (じんぐう てるお)

—青山学院大学名誉教授・英米文学。1932年、群馬県生まれ。早稲田大学英文科卒業、同大学院修了。在学中から早大童話会に参加し、長く英米児童文学の研究・翻訳の第一人者として活躍。センダックをはじめとして、アーサー・ランサム、リチャード・アダムズ(『ウォーターシップ・ダウンのうさぎたち』)、ジョン・ロウ・タウンゼント(『アーノルドのはげしい夏』)、ウィリアム・メイン、ロイド・アリグザンダーなど、戦後の代表的な作品を数多く日本の読者に紹介した功績は大きい。また、ご自身による創作、評論等も枚挙にいとまがない。1964年、『世界児童文学案内』で日本児童文学者協会賞、1966年、サンケイ児童出版文化賞、『アーサー・ランサム全集』で68年、児童福祉文学賞受賞。

青山学院大学教授、白百合女子大学教授を歴任。

ラボ・ライブラリーでは、SK22『トム・テット・トット』の日本語を担当された。

(財)ラボ国際交流センター評議員。

<会場地図> 仙台市福祉フラザ

